

科目名		感性情報処理 (Kansei Information Processing)							
学年	専攻	単位数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	経営情報工学専攻	2 単位	選択	講義	前期	90 時間			
担当教員		【常勤】 助教 中岡 伊織							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	人間がモノに対して抱く感性は近年、企業のマーケティング活動などにも利用され、注目されている分野の一つである。この感性を採取するためには、アンケートなどによる主観評価実験が必要となる。そこで本講義ではSD法、一対比較法、ラフ集合、多変量解析、AHP、コンジョイント分析について紹介する。さらに実践編として、パネルデータを採取するためのフォームを作成し、被験者実験とその統計的解析から分析を行う。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標 ①	例を通じて感性情報とマーケティング活動との関連性を理解できる	感性情報の利用例を理解できる	感性情報の概念を理解できる。	感性情報の概念を理解できない					
到達目標 ②	感性情報を利用して、ラフ集合や多変量解析にもとづき分析ができる	ラフ集合や多変量解析について理解できる。	ラフ集合や多変量解析について、概要を理解できる	ラフ集合や多変量解析について、概要を理解できない					
到達目標 ③	パネルデータを採取するためのフォームを作成し、実際に分析・考察できる。	パネルデータを採取するためのフォームを作成できる。	パネルデータを採取するための方法について理解できる。	パネルデータを採取するための方法について理解できない。					
学習・教育到達目標	C②	JABEE基準1 (2)		(d)-(1)					
達成度評価 (%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合		40		30	30				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎		◎	◎				
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		○		◎	○				
汎用的技能 【論理的思考力】				◎					
態度・志向性(人間力) 【主体性】				○					
総合的な学習経験と 創造的思考力 【エンジニアリングデザイン能力】				○					

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	マーケティング論，経営戦略論，Webコンピューティング
教科書	なし
補助教材等	適宜書類を配布する.

学習上の留意点
<p>本科において，マーケティング論およびWebコンピューティングの単位を取得していることを，受講の条件とする。ポジショニング分析においてはWebコンピューティングで用いた資料を持参のこと。</p>

担当教員からのメッセージ
<p>本科5年で行ったマーケティング論の発展的科目になっています。本科の内容の復習をした上で受講して下さい。</p>

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。	
2	感性情報処理 1	・様々な研究事例を通じて、感性情報処理がどのように応用されているのかを理解できる	配布資料にもとづき予習・復習
3	感性情報処理 2	・感性情報がマーケティングに応用されている事例を通じて、商品開発における感性情報の重要性について理解できる	配布資料にもとづき予習・復習
4	感性情報処理 3	・感性情報を取得するための手法であるSD法や一対比較法について理解できる	配布資料にもとづき予習・復習
5	感性情報処理 4	・感性情報を分析するための手法の一つである多変量解析について理解・応用できる	配布資料にもとづき予習・復習
6	感性情報処理 5	・感性情報を分析するための手法の一つであるAHPやコンジョイント分析について理解・応用できる	配布資料にもとづき予習・復習
7	感性情報処理 6	・感性情報を分析するための手法の一つであるラフ集合理論について理解・応用できる	配布資料にもとづき予習・復習
8			配布資料にもとづき予習・復習
9	ポジショニング分析	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルデータを採取するためのフォームを作成できる。 ・得られたデータを適切な方法で分析できる ・得られた結果をプレゼンテーション形式でわかりやすく説明できる 	予習：フォーム作成方法 復習：フォームの作成
10			予習：フォーム作成方法 復習：フォームの作成
11			予習：フォーム作成方法 復習：フォームの作成
12			予習：フォーム作成方法 復習：フォームの作成
13			予習：分析方法 復習：分析結果の考察
14			予習：プレゼンテーションの作成 復習：マーケティング活動全体について
期 末 試 験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			30 時間
自学自習			60 時間